


第15回 メタン発酵技術アドバイザー養成研修のご案内

(開催概要)

一般社団法人日本有機資源協会 

一般社団法人日本有機資源協会では、バイオマスの有効利用促進と持続可能な循環型社会の構築を目的に人材育成事業をはじめ様々な事業を展開しています。バイオガス事業を推進する人材の育成を目的として「メタン発酵技術アドバイザー」の養成研修を、開催いたします。

本研修修了者につきましては、メタン発酵技術アドバイザーとして必要な知識と技術を習得したことを認定し、研修修了証を交付いたします。

開催内容や申込用紙など、詳しくは、日本有機資源協会のホームページ(<https://www.jora.jp/training/>)をご参照頂くか、裏面問合せ先までご連絡ください。

受講者のお声

受講目的は？

- 現在および今後のメタン発酵に関する事業の参考とするため
- メタン発酵の基礎から実務面まで全体像を学ぶため

受講後のご感想

- 基礎から応用まで、かなり内容が濃いものであった。
- メタン発酵の基礎から、具体的な現場の情報や今後の課題まで、幅広く網羅されたカリキュラムで、大変勉強になった。
- プラントの現場運営や自治体の取組を詳しく知ることができ、とても参考になった。
- メタン発酵技術に関する情報を包括的に得ることができ、様々な立場の受講生と交流できたのが良かった。
- 実用例が多く、今後の視野を広く持つことができた。
- 事例紹介の講義では、オペレーションやリスク管理、対応策の説明もあり、貴重なノウハウを聞くことで大変勉強になった。
- 原理から運転事例、事業事例まで丁寧に説明していただき、今後の業務に活かせそう。
- メタン発酵の管理のポイントや生成物の利用について学習できる良い機会だった。
- 多様な専門家の方々から直接講義を受けることができ、とても参考になった。また、ディスカッションでは多様な視点の意見を聞くことができたことも良かった。
- 交流会やディスカッションで、参加メンバーとの交流や意見交換できたのが大変有意義だった。

開催概要

1. 実施日 2025年9月4日(木)～5日(金)
2. 実施方法 オンライン(Zoom)研修
3. 研修日程 裏面をご参照ください。
4. 申込期限 2025年8月21日(木)
5. 申込方法 別添の様式3に必要事項を記入の上、事務局までメール等で送付してください。
6. 受講料 ① 一般社団法人日本有機資源協会会員
60,500円(税込み)／1名
② 一般(非会員)
77,000円(税込み)／1名
※ 受講料の対象となる費用は、聴講料、資料代(消費税込)となります。

7. 問合せ先 一般社団法人日本有機資源協会 事務局
(十川・村越)

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16

馬事畜産会館 301号室

TEL: 03-3297-5618 / FAX: 03-3297-5619

E-mail: kensyu@jora.jp

人材育成事業のページはこちらから



第15回 メタン発酵技術アドバイザー養成研修 日程

開催日 : 2025年9月4日(木)～5日(金)

開催方法: オンライン (Zoom)

開催日	時間	講習内容	講師
1日目 9/4 (木)	9:00～	受付	
	9:10～9:20	オリエンテーション	事務局
	9:20～9:30	開講にあたっての挨拶	(一社)日本有機資源協会
	9:30～10:20	バイオマス概論 ～メタン発酵を中心として～	柚山 義人 ((一社)日本有機資源協会 専務理事)
	10:20～10:30	(休憩)	
	10:30～12:00	メタン発酵の基礎	石井 一英 (北海道大学工学研究院 教授)
	12:00～13:00	(休憩)	
	13:00～13:30	バイオマス活用に関する施策動向	経済産業省 資源エネルギー庁
	13:30～13:40	(休憩)	
	13:40～14:40	メタン発酵関連マニュアル	岡田 真治 (みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 サステナビリティコンサルティング第2部持続型社会チーム シニアコンサルタント)
	14:40～14:50	(休憩)	
	14:50～15:50	メタン発酵施設の設計	竹野 勝彦 (水ingエンジニアリング株式会社 エンジニアリング事業本部 S&M技術統括部 S&M技術二部)
	15:50～16:00	(休憩)	
16:00～17:00	バイオガス事業化のポイント	中新田 直生 (株式会社市川環境エンジニアリング 取締役)	
17:00～18:00	交流会(ネットワーキング)	事務局	
2日目 9/5 (金)	8:50～9:30	バイオガスの利用	土肥 哲哉 ((一社)日本有機資源協会 主任)
	9:30～9:40	(休憩)	
	9:40～10:40	メタン発酵バイオガス発電の事例 (乾式メタン発酵)	金城 寿人(株式会社富士クリーン 再生エネルギー部 部長)
	10:40～10:50	(休憩)	
	10:50～11:50	メタン発酵施設の運転の実際	須藤 貴宣 (フロー株式会社 代表取締役) 青木 仁志 (前澤工業株式会社 環境事業本部 環境ソリューション事業部 バイオガス・民需営業部 部長)
	11:50～13:00	(昼食)※質疑等の調整時間含む	
	13:00～13:40	メタン発酵バイオガス発電の事例 (自治体の取組み)	福岡県みやま市
	13:40～13:50	(休憩)	
	13:50～14:30	メタン発酵バイオガス発電の事例 (肉牛ふんとパイプライン方式)	後藤 博信 (東北おひさま発電株式会社 代表取締役)
	14:30～14:40	(休憩)	
	14:40～15:40	バイオ液肥の有効利用と環境影響	中村 真人((国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 上級研究員)
	15:50～16:50	ディスカッション	事務局
16:50～17:20	研修修了考査	事務局	
17:20～17:40	研修修了考査解答説明	事務局	
17:50	閉講にあたっての挨拶	(一社)日本有機資源協会	

※講師の所属先や役職は、変更・更新される場合があります。